

科目名	ビューティープロモーション		Subject	Beauty Promotion	
サブタイトル	メイクアップ、ネイル、ヘアのトータルビューティを学び、ポートフォリオのための作品制作を行う。				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装	
2 年	前期	選択			
授業形態	単位	時間			
演習	4 単位	60 時間	◎		
ゲストスピーカー招聘回		2 9、3 0			
教員名	ティミー 西村		メールアドレス	timmy.nishimura@・・・	
教員の略歴	美容師を経たのち株式会社エスティローダーにてメイクアップアーティストとして２２年間勤務。同社コミュニケーションズ部次長に就任。2008 年より山野美容芸術短期大学教授。2024 年度より同校非常勤講師。				
実践的教育	○ 化粧品会社のメイクアップアーティスト、広報、イベント企画者としての経験をもとに実践に即した内容としている。				
オフィスアワー	授業の前後３０分に直接声をかけてください。				

科目の概要								
メイク、ネイル、ヘア、衣装デザイン等のトータルビューティ技術を組み合わせた高度なレベルの表現力を身につける。アイデアを形にする力を身につけるため複数の講師によるオムニバス形式の授業。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	○	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
社会実装	ビューティビジネスの現場で必要とされる知識と技能を得て、「美容芸術」を実社会で活用できる能力を発揮できる。							
教科書・教材								
教科書	特に無し							
参考文献	特に無し							
各自準備教材	本科在学中に配布されたメイクアップ、ネイル、ヘア教材。（教材を持っていない場合は貸し出します）							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	15%	-	-	15%	35%	35%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
提出された課題、制作した作品について個別にフィードバックします。								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
特に無し								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第1回	オリエンテーション。 【担当教員：西村】	社会実装の観点でメイクアップ、ヘア、ネイルを施術することとポートフォリオ制作の意味を理解し説明できる。	講義内容を自宅で復習。 スマートフォンでのクラスルーム参加作業。	240
第2回	レベルチェック この科目の到達点の確認。 【担当教員：西村】	各自のメイクアップ技術レベルを確認し、到達点の設定を行える。	技術レベルの振り返りを行えるようメイクアップ前後の写真でスライド作り。	240
第3回	1920年代の文化を学ぶ。 【担当教員：西村、高橋】	1920年代の時代背景、文化、撮影技術を理解し、説明できる。	講義内容を自宅で復習。	240
第4回	1920年代のメイクアップを学ぶ。 【担当教員：西村、高橋】	クララ・ボウに似せたメイクアップを表現できる。	技術を反復練習。振り返りを行えるよう授業でのメイクアップ前後に撮影した写真でスライド作り。	240
第5回	1930年代の文化を学ぶ。 【担当教員：西村、春山】	1930年代の時代背景、文化、撮影技術を理解し、説明できる。	講義内容を自宅で復習。	240
第6回	1930年代のメイクアップを学ぶ。 【担当教員：西村、春山】	マレーネ・デートリッヒ、グレタ・ガルボ等に似せたメイクアップを表現できる。	技術を反復練習。振り返りを行えるよう授業でのメイクアップ前後に撮影した写真でスライド作り。	240
第7回	1950年代の文化を学ぶ。 【担当教員：西村、春山】	1950年代の時代背景、文化、撮影技術を理解し、説明できる。	講義内容を自宅で復習。	240
第8回	1950年代のメイクアップを学ぶ。 【担当教員：西村、春山】	マリリン・モンロー、オードリー・ヘップバーン等に似せたメイクアップを表現できる。	技術を反復練習。振り返りを行えるよう授業でのメイクアップ前後に撮影した写真でスライド作り。	240
第9回	舞台のメイクアップの知識を学ぶ。 【担当教員：西村、春山】	日常のメイクアップと舞台のメイクアップの違いを説明できる。	講義内容を自宅で復習。	240
第10回	舞台メイクアップの技術を学ぶ。 【担当教員：西村、春山】	演劇やミュージカル等におけるステージメイクアップの表現ができる。	技術を反復練習。振り返りを行えるよう授業でのメイクアップ前後に撮影した写真でスライド作り。	240
第11回	季節感、イメージに合わせたメイクアップの表現方法を学ぶ。 【担当教員：西村】	雑誌やカタログ撮影でのメイクアップ表現の種類を理解し、説明できる。	講義内容を自宅で復習。	240
第12回	服のコンセプトに合わせたメイクアップを学ぶ。 【担当教員：西村】	写真撮影のための、衣装に合わせたメイクアップ表現ができる。	技術を反復練習。振り返りを行えるよう授業でのメイクアップ前後に撮影した写真でスライド作り。	240
第13回	模写メイクアップの意味を学ぶ。 【担当教員：西村】	ファッションショー等で施術者が異なっても同じメイクアップが表現できる意味を知り、説明できる。	講義内容を自宅で復習。	240
第14回	写真と同じメイクアップを再現する方法を学ぶ。 【担当教員：西村】	他のメイクアップアーティストが作った作品を模写して表現できる。	技術を反復練習。振り返りを行えるよう授業でのメイクアップ前後に撮影した写真でスライド作り。	240
第15回	・アジアにおけるネイルの進化を学ぶ。 ・アクリルイクステンションを使用した造形的な爪の作り方を学ぶ 【担当教員：加藤】	アジアのネイルの進化を説明することができる。	アクリルイクステンションの造形方法について復習する。	240

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第16回	アクリル素材や樹脂の素材を使用し立体的なデザインを作る技法を学ぶ。 【担当教員：加藤】	アクリル溶剤の特徴を理解し、立体的なデザインを作ることができる。	作品制作のためのコンセプトを踏まえ、爪の形状とデザインを考えてくる。	240
第17回	第21回の作品制作を踏まえ、爪の形を作成する。 【担当教員：加藤】	爪の形状によってイメージが変わることを理解することができる。	爪の形状に合わせた装飾を考えてくる。	240
第18回	爪の立体的なデザイン及び装飾を作成する。 【担当教員：加藤】	アクリルの溶剤を調整しながら作成することができる。	爪の形状に合わせた装飾を考えてくる。	240
第19回	これまでの技法を活用し、爪の複合アートを作成する。 【担当教員：加藤】	フラットアート、3D等を組み合わせて複合的なデザインを作ることができる。	作成した装飾を爪につけたときのバランスを考え、次の授業で調整できるように準備する。	240
第20回	複合アートを完成させる。 【担当教員：加藤】	10指の爪のバランスを考えて作成することができる。	作品制作、及び撮影にあたり爪をどのように表現するかを考える。	240
第21回	作品制作のコンセプトを考える。 【担当教員：西村】	修了作品のコンセプト作りのためにメイクアップのアイデアを出すことができる。	メイクアップのコンセプトを具現化したデッサンを描く。	240
第22回	作品制作のコンセプトに対してのフィードバック。 【担当教員：西村】	修了作品制作のためのメイクアップのアイデアに対する教員からのフィードバックを、コンセプトに反映させることができる。	作品化できるようメイクアップを反復練習する。	240
第23回	作品制作のためのヘアスタイルのコンセプト作りを学ぶ。 【担当教員：ヘアチーム】	修了作品のコンセプト作りのためにヘアデザインのアイデアを出すことができる。	ヘアスタイルのコンセプトを具現化したデッサンを描く。	240
第24回	作品制作のためのヘアスタイリング技術を学ぶ。 【担当教員：ヘアチーム】	修了作品制作のためのヘアデザインのアイデアに対する教員からのフィードバックを、コンセプトに反映させることができる。	作品化できるようヘアスタイリングを反復練習する。	240
第25回	作品制作のためのネイルと衣装のコンセプトを考える。 【担当教員：加藤、大野、西村】	修了作品のコンセプト作りのためにネイルと衣装デザインのアイデアを出すことができる。	ネイルのコンセプトを具現化したデッサンを描く。	240
第26回	作品制作のためのネイルと衣装のコンセプトに対してのフィードバック。 【担当教員：加藤、大野、西村】	修了作品制作のためのネイルと衣装のアイデアに対する教員からのフィードバックを、コンセプトに反映させることができる。	作品化できるようネイル作りを反復練習する。	240
第27回	作品制作のリハーサル。 【担当教員：西村、ヘアチーム】	修了作品のためにリハーサルとして撮影日と同じクオリティのものを作ることができる。	リハーサルの振り返りと課題点の洗い出しを行い、改善するための練習を行う。	240
第28回	リハーサル作品に対してのフィードバック。 【担当教員：西村、ヘアチーム】	リハーサル作品に対し教員からのフィードバックを、最終調整として反映させることができる。	コンセプトシートの最終調整を行う。	240
第29回	作品制作。 【担当教員：西村、ヘアチーム、西】	修了作品の制作を計画通りに行うことができる。	ポートフォリオに作品を加える。	240
第30回	作品撮影。 【担当教員：西村、ヘアチーム、西】	修了作品の撮影を行い、ポートフォリオの作品として活用する計画がたてられる。	作品制作の過程を振り返りを行い、個人で作品作りを継続する計画をたてる。	240